

2014年度第2回日本学連幹事会 議事録

開催日 2014年(平成26年)9月14日(日)
会場 蓼科パークホテル(長野県茅野市)

【議題】

1. 自己紹介
2. 後援申請
3. インカレスプリントについて
4. インカレミドルの方式について
5. 理事会報告
6. 技術委員会報告(省略)
7. 各部局活動報告
8. 各地区学連活動報告
9. 次回幹事会について

【出席者】(敬称略)

氏名	役職	学校名
齋藤翔太	理事	一橋大学卒
高橋元気	理事	東北大学卒
田村直登	理事(途中参加)	東北大学卒
宇井賢	幹事長	京都大学
佐藤大樹	副幹事長・日本学連活動報告書作成委員会委員長	東京工業大学
平野大輔	事業部長	名古屋大学
高橋秀明	広報部長	金沢大学
新粥文哉	事務局長	千葉大学
杉村俊輔	普及部長	東北大学
橋場良太	渉外部長	東北大学
五味あずさ	会計監査	金沢大学
野本圭介	会計監査	筑波大学
大川拓哉	北東学連幹事長	東北大学
久須美裕	北信越学連幹事長	新潟大学
村瀬貴紀	関東学連幹事長	筑波大学
今井祐太	東海学連幹事長	名古屋大学
糸井川壮大	関西学連幹事長	京都大学
下江裕貴	中九四学連代表	広島大学

議事録作成: 高橋 秀明(広報部長・金沢大)

2014年度第2回日本学連幹事会 議事録

発言者 (敬称略)	発言内容など
	幹事会開始:19時01分
	1.自己紹介 今回の幹事会の出席者の自己紹介を行った。(参加者については表紙を参照)
	2.後援申請
	日本学連へ後援申請のあった、筑波大大会・早大OC大会について、全会一致で後援を承認した。
新粥	(1)第34回筑波大学オリエンテーリング大会 開催日:2015年1月25日(日) 開催場所:栃木県矢板市境林、高塩、館ノ川、山苗代地区 →全会一致で後援が承認された。 (2)第35回早大OC大会 開催日:2015年2月22日(日) 開催場所:静岡県裾野市深良財産区 →全会一致で後援が承認された。
	3.インカレスプリントについて
	第1回幹事会終了後に行った、インカレスプリントに関する加盟校へのアンケートの結果を基に、インカレスプリント試行大会や正式な大会の開催に向けて議論した。また、時間的な制約があるため、試行大会終了後の早い時期に臨時幹事会を開催し、試行大会の結果を踏まえて、正式な大会についての議論することとなった。
宇井	平野・事業部長がまとめてくれた(各加盟校の)意見に基づいて、来年度以降「第1回インカレスプリント」を開催するにあたって、どういう方針で進めていくか、方向付けをしていきたい。
宇井	1.日程・競技形式などに関して 日程については、おおむね「インカレロングの前日がいよいよ」という意見であった。前回の幹事会などでも同じような話になっていたの、幹事会と加盟校の意見が一致しているといえる。 競技形式については、決勝一本方式と予選・決勝方式の2つに意見が分かれた。しかし、「モデルイベントとの兼ね合い」(一橋大)が問題となる。春休み期間中に開催されるインカレミドル・リレーと違い、インカレロングは3~4日間と時間が取れるわけではない。「モデルイベントの時間が無くなってしまふから、予選・決勝方式の採用は難しい」という意見などもある。「スプリントという競技の意義を考えたとき、予選・決勝方式がよい」(筑波大など)という意見も出ている。これについてはどう思うか。
平野	ウイニングなどは違うが、運営上の負担が厳しいとして、インカレミドルの予選・決勝方式が廃止された。今後続けていくことを考えると、運営者としても予選・決勝方式は厳しいと思う。とりあえず決勝一本方式で開催し、その様子を見て予選・決勝方式での開催が可能かどうか、検討するのがよいと思う。
野本 平野	とりあえず、というのは、今度の試行大会でやって検討するということか。 まずは開催可能な形で行い、3年ぐらい経ってから加盟員の意見を出してもらい、予選・決勝方式を望む声が多くなったら、本格的に検討すればよいと思う。しかし、運営側がぎりぎりな状態なのであれば、開催の継続性という観点から、決勝一本方式でやっていくしかない。
宇井	この後の項目で出てくるが、「インカレとして開催するのならば、スプリント競技として、ルールに則った運営をしてほしい」という意見が多かった。予選・決勝方式を採用して、運営の負担が大きくなると、足りない部分が出てきやすくなると思うので、予選・決勝方式なかなか厳しいと思う。
佐藤	競技を行うのに、どのくらい時間がかかるのか、あんまり読めない。また、出場人数についてはどうだろうか。そのあたりは各地区学連幹事長がよくわかっていることだろう。一部では、出場者を結構頑張らせて集めたという話がある。
大川	【各地区学連のスプリント出場者の選考状況】 北東学連:各大学の加盟員数に応じて各大学に枠を割り振り、各大学に出場選手の選出を任せた。→枠がいらないという大学が出たため、再配分した。学連に割り振られた枠はすべて使い切った。
村瀬	関東学連:セレクションを開催し、その後セレに参加しなかった大学を中心に推薦で決めた。 →セレに参加する人数が少なく、男子は完走した全員がセレを通過し、女子はセレで割り振られた枠に対して通過者が足りず、残りの枠は推薦へ回した。 推薦については、1回目の募集では枠が埋まらず、追加募集をかけた。その結果、男子は埋まったものの、女子は1枠余った。個人的に渉外を通じて2人ほどオファーしたが、ともに参加しないという意思だった。
久須美	北信越学連:パークO(第4回山川メモリアル)を利用してセレを行い、意思確認をしたうえで、上位選手から順に出場することとした。

今井	東海学連:各大学に渉外を通じて推薦用紙を配布し、(出場)希望者に志望動機などを書いて提出してもらい、学連側で決めようとした。 →男子8枠はちょうど埋まったが、女子は5枠に対して2人しか推薦が来なかった。希望者を出場させることとし、余った枠については、追加募集などをせず、返上することとした。
糸井川	関西学連:まず各大学渉外に参加希望者人数を確認し、希望者が枠の数を超過した場合はセレを行うこととした。 →男子9枠はちょうど埋まったが、女子は7枠に対して希望者が2人だったのでそのまま通した。余った枠については追加の希望者もなく返上した。
齋藤	(インカレスプリント試行大会の)出場者数は男女それぞれ何人であったか。
宇井	男子60、女子30である。人数が多かったのかもしれない。
佐藤	その辺はまた見直しが必要かもしれない。
佐藤	(各地区学連の状況を聞く限り、枠の配分が各地区の)競技の実情とあっていない。
宇井	男子の枠を返上したところはない。女子の枠を返上したところは関東(1枠)、東海(3枠)、関西(5枠)であり、合計9枠が返上されている。
齋藤	北信越学連全体の感触はどうだろうか。
五味	北信越の上位の中では、男子で1位通過した人でも、ロングが次の日にあるため、出ないというわけではないが、出場を考えていた。女子でもセレ通過者がロングエリートだったので、スプリントをどうしようか悩んでいた。ただ、他学連のように、スプリントの枠に対して希望者が足りないということはなく、希望者だけの人数で枠は埋まる。
齋藤	北信越学連の学連枠(男子7、女子2)は、特に女子の枠の数が競技の実情と合っていないというのは前回の幹事会のとおりか。
五味	北信越に余った枠を分けてほしいくらいである。女子については、スプリントセレに参加した女子5人から上位2人をとったが、3位の人も「スプリントに出たい」と言っていた。ただ、4位・5位の人の意見はまだ聞いていない。また、スプリントセレに参加できなかった人がいたが、その人の意見も聞いていない。
佐藤	今年は単に山上さんが提示した枠で行ってみたというだけであり、来年は減らす方向になるだろうか。
野本	正直わからない。ロング選手権に出ない人でも、「無駄に疲れたくない、出たくない」という人がいるし、「この前の試行大会(の内容)が散々だったから」という人もいる。自分の周囲には、「インカレスプリントが実施されたら出場したい」という人が何人かいた。
佐藤	まだ試行大会だからみんなあまりやる気を感じていないところが多いのか。少し厳しめの方がいいのかも。
宇井	男子も出たいという人が出られるので、セレクションの意味がない。
大久保	関東学連では、セレクションでペナをして落ちた人が、推薦で通過したことがあった。
宇井	人数については、今回は募集をかけたのでいいが、来年度以降は人数を少し減らす方針で言った方がいいだろう。
佐藤	どの学連・大学も人数があまり集まっていないのなら、予選・決勝方式でも1日で行えるのではないのだろうか。200人~300人が予選を走るのなら、1日を使って行わなければならないので、予選決勝方式は無理だろうが男女合わせて80人も出場しないのなら、決勝に残る人数を少なくすればそんなに時間を取られないのではないだろうか。
齋藤	それは運営に聞かないとわからない。ミドルの予選・決勝方式が一番手間なのは、ポストの付け替え作業であったと聞いている。ミドルの前日に付けて位置確認をするが、付け替えをすると、その作業を再びすべてやらなければならない。どこ(山、公園)でやるかにもよるが、スプリントに加えて、モデルイベントを行うことを考えると、あまり現実的でない。
野本	トレインの制約にもよるだろう。 (19時30分 田村・途中参加)
宇井	もっとスプリントが浸透し、スプリントだけでインカレが開催できるようになれば、予選決勝方式で開催してもよいと思うが、現状では厳しいだろう。
佐藤	すると、決勝は一本だろう。
野本	「トレインの制約などの問題がなかったら、予選決勝方式が望ましい」ということにはしておけばいいのではないだろうか。
宇井	可能なら、予選決勝方式でやってもらった方が、競技としては望ましいと思う。
佐藤	トレインを決める際に少しでも考慮に入れてもらえばいいのかなと思う。
齋藤	「規約をどうするか」という話になる。「望ましい」というのは実行委員会からしたら、結構きついと思う。とりあえずそういう意見があったということで、予選・決勝方式で開催できる可能性があるのか、それとも絶対無理なのか、試行大会が終わってから、山上さんなどに聞いてみるのがいいと思う。
宇井	とりあえず、競技方式については、予選決勝方式が望ましいが、トレインの性質にもよるが、モデルイベントとの兼ね合いから厳しいだろうという意見になる。やってみて山上さんにどんな感じだったか聞いて、また議論しよう。
佐藤	とりあえず次の総会(試行大会)終了直後で(議論をするのは)きついでだろうか。
齋藤	今から聞いてみたらどうか。そうすれば、総会の時、説明するだけでよい。
宇井	2.一般クラス設置の是非、観戦・演出に関して 一般クラスの設置についても、「時間と運営上、厳しい」「設けた方がよい」とか、「負担がなければ設けた方がよい」「負担を考えると選手権のみでよい」など、いろいろな意見が出ている。

	意見が多く出ているのが、観戦ガイドについてである。その配布を希望する大学が多く、「地図を公開してほしい」という意見も出ている。スプリントは「見せる競技、見ている方も楽しい競技」というコンセプトがあるので、観戦ガイドについては、配布するべきなのだと思う。
齋藤	前回(実験大会)では、配布と言っていたものの、それがなかったのが非常に致命的だったと個人的に思う。
杉村	それは実行委員会の方で作ればよいか。それともミドルの観戦ガイドを作っている普及部が作ればよいか。
齋藤	観戦ガイドはインカレでスタート直後に配られる、当日のテレインレイアウトなどが掲載されたものなので、実行委員会で作らなければならない。
宇井	観客があつての競技なので、(スプリント)エリートを見せないといけない。そうすると、もし一般クラスを設けるとしてもエリートとは時間を分けて行うべきである。そうすると時間の制約が足かせになると思う。運営の制約もある。一般クラスがあつたらみんな出るのだろうか。
平野	名古屋大は、エリートを走らない人の中では出ないというのが大多数だった。
五味	金沢大では、セレ落ちした人の中では、男子でチャレンジクラスで走りたいという声があつた。
宇井	もともとエリートで走りたいという意思のあるような人は、落ちたら一般クラスで走りたいという感じなのはわかるが、エリートは走らないが一般クラスなら出たいという人はいるのだろうか。
大久保	新入生に少しいるくらいである。上級生には「たまたまセレクションに出られなかったから、出ようか」という人が若干いる以外は、OLK全体でも、選手権に出るような人しかいなかったと思う。
村瀬	まずチャレンジクラスに出る大学に限られている。その大学の中でも出る人は限られている。
齋藤	事前エントリー制のみで人を集めるのは難しいのではないだろうか。先にエリートが走ってから、チャレンジクラスの出走になるのと思うが、その時の競技が見て面白かったかどうか、というのが(出場したいという気にさせる材料として)結構大きい要素だと思う。
野本	自分も、当日面白そうなら参加すればいいかな、と思う。大西さんが言っていた、ヨーロッパの大会のように開放して好きに走ってよいという形にして、コースのクオリティを高めるというのが参加者を増やすという意味で理想的である。
齋藤	選手権クラスはともかく、チャレンジクラスや一般クラスが翌日(のロング)に優勢することはたぶん絶対にならないから、今回の試行大会では、魅力的な大会になっているかどうかの問題となる。(ところで)チャレンジクラスは事前エントリー制になっていないか。
佐藤	(ロング)申込時に同時にエントリーした。
齋藤	当日も参加申し込みできるという話になっていないだろうか。
佐藤	把握していない。
糸井川	余りがあつたらできる、という話だったような気がする。
佐藤	関東では申し込みが集まらなかった、という話を聞いている。
齋藤	山上・実行委員長に確認しておこう。ところで、参加費はいくらだろうか。
宇井	チャレンジクラス1000円、選手権クラスが3000円である。後で出てくるが、金額差がちょっと大きい気がする。
野本	チャレンジはフリースタートだから、その差を考えると、別に問題ないだろう。
齋藤	1000円だとたぶん一番参加しやすい。(募集が)もう始まったから仕方ないが事前エントリーはおかしいとは言わないが、趣旨とは違う気がする。
平野	山上・実行委員長が最終的に出した要項では、参加費は選手権2500円、チャレンジクラス1500円だったと思う。金額差が縮まっている。
齋藤	あと、この前の幹事会では、独立採算制でどこまで黒字が出るか話をしている。そこもふたを開けてみないとわからない。
高橋(元)	気になっているのだが、そもそも選手権しか開催されない大会へ、一般の人は会場へ来るのか。僕だったら、出られない大会へ応援だけするためにはいかない。
齋藤	人を集めるために、モデルイベントに合わせて開催している。前回の試行大会では、その時間帯のモデルイベントを禁止している。最初に人を集めて、スプリントは見るだけでも楽しいということ、みんなにわかってもらわなければならなかったが、前回は失敗した。
宇井	一般クラスについては、現状では、ロング・ミドルのように、「一般」と「エリート」というくくりでやつたところで人数があまり集まらない状況なのか。
佐藤	「おもしろいな」と思って走ってくれるのならば、最初から「当日参加は何人まで」と決めて、地図をある程度用意し、選手権が終わってからフリースタートするのが理想的な形なのだろうか。ただ、一般クラスはいらないという意見がたぶん多いと思う。
平野	一般クラスはいらない、という意見は(確かに)多かった。
佐藤	走るならチャレンジクラスで、という人が多いのだろうか。
	一方である程度お金を走れば、エリートに出られるというのは、ロングやミドルではそれができないのに、スプリントではできる、選手権だけが走れる、というのはどうなのか、という意見があつた。
齋藤	アンケートではどのような質問をしたのか。
平野	「選手権クラスに出場できなかった加盟員に対して」、というタイトルで、「一般クラス」と「観戦・演出」の2項目について聞いている。「一般クラス」に関しては、「選手権クラスに加えて一般クラスを設けるべきかどうか」という聞き方をしている。基本的に「チャレンジクラスを設けるべきではない」という意見はなかった。「一般クラスを設けて走りたい人が走る」というのが大多数の意見であつた。
齋藤	(実施後、)再度アンケートをやることになるのだろうか、アンケート結果を見る限り、MEチャレンジの中でも、時間差でスタートする場合とフリースタートする場合とは、だいぶ状況が変わってくるだろうから、(アンケートを取る際は)そのように項目わけをした方がよいだろう。
宇井	とりあえず、一般クラスを設けることは、そんなに求められていないという感じだろう。チャレンジクラスについては、まだ議論の余地が残されているが、今の段階ではこれ以上議論は進まないだろう。

	3.参加費に関して
平野	(アンケートでは)参加費が3000円としたら、「それを安いと感じるか、高いと感じるか」、「どの程度の大会クオリティを求めるか」という質問をした。大体の人は(参加費について)高いあるいは安いという答え方をしている、一部は3000円なら演出に力を入れてほしいという意見が出ている。3000円は高いという意見が多かった。ただ、以前とったインカレミドルのアンケートでも高いけど仕方ないという意見が多かったの、高いからと言って出ないというわけではなさそうだ。安くする努力をいつもしてほしいということだろう。
宇井	参加者としては、もちろん安い方がいいが、一番は大会のクオリティの問題だと思う。高いならしっかりやってくれないと参加者は納得いかないし、参加費より大会の質を上げていくことが重要だと思う。(アンケート結果を)見ると高いけど質が良ければ仕方ないという意見が結構多い。
佐藤	参加費は僕らの決める問題ではない。
宇井	採算などは、スプリントだけでどのくらいの採算が取れるか見てみないとわからない。運営の経費と判断となるだろう。
佐藤	あとは、選手権クラスと一般クラス・チャレンジクラスとの参加費の差額が問題だろう。齋藤理事が言ったように、1000円払ってすぐに走れる方が気楽でいいと思う。
齋藤	結局、次の大会で実行委員会がどれだけの演出をしてくれるかどうかな。すごいことをしてくれれば、2000円の差は小さいが、前回のようなことをされたら、納得がいかないだろう。
佐藤	そうだと、学生側も考え方がかなり変わるだろう。
齋藤	試行大会のクオリティと収支を見て判断することになるだろう。実験なので、収支もすべて公開することになるだろう。
	4.その他
宇井	その他のところでは、いろいろな意見が出ている。テレインの選択肢のほなしや、「スプリントとはどのようなものを定義するのか指針を作って欲しい」といった意見が上がっている。競技の質を優先してほしいという意味では、先ほど話したところをかぶる。テレインの選出・ロングとの兼ね合いの問題があるだろうが、ここで話し合えることがない。
	5.インカレスプリントとは関係のないその他(普及部への意見)
宇井	観戦ガイドの販売の仕方を考えよう。
佐藤	確かにいつも混雑しているうえ、大きな大学がたくさん買っていってしまう。
平野	(アンケートに書かれていたので、)一意見としてここに上げた。
高橋(秀)	昨年度はPDF形式のデータのリンクをメールで流した記憶がある。
宇井	それについては普及部で対策を考えてほしい。
宇井	全体を通して意見はないか。
田村	試行大会の後、意見を求めることになると思うが、本大会の実施を決めるのは3月の総会になるのだろうか。それとも臨時総会を開くことになるのだろうか。組織のことなどを考えると、試行大会終了後、急いでやるべきだと思う。
齋藤	正式な議決は総会の場で行われることとなるだろうが、どうなるかは大体わかるだろう。
田村	その辺を2015年度のロングの実行委員会にも伝えることになると思う。
五味	今年のインカレロングのテレインである「トリムパークかなづ」のように、インカレスプリントが行えるところがついているテレインは少ない。テレインが決まったら、その時点でインカレスプリントが併催できるかどうか、モデルイベントの時間中に移動の必要があったら、インカレスプリントを同時開催は難しい。
田村	時間がないと思うので、おそらく理事の中で連絡を取り合うこととなると思うが、すぐに取り組むべきだ。ちなみに、福井(今年度のインカレロング実行委員会)はいつごろ組織されていたのか。
五味	(金沢大のOB・OGから)実行委員会へ人員を出すために、金沢大のオフィシャルを決めないといけなくなったことが、インカレロングの直後ぐらいにあった(ので、その頃だろう)。
高橋(秀)	おそらく11月ぐらいだったと思う。
田村	それを考えると本当に時間がない。
齋藤	インカレに関わることなので、結構な費用はかかるが、臨時幹事会を開いてもいいだろう。2010年度にはインカレロング不成立のために、すぐに加盟校へアンケートを実施し、約1か月後に臨時幹事会が東京で開かれているので、同じようなことを行ってもいいと個人的に思う。
宇井	(臨時幹事会を)やらなければならない事案だと思う。
齋藤	インカレスプリント開催の最終的な決議は総会でやる必要があるが、どうするかは考えないといけなない。特例としてメールでやり取りしても問題のあることではないのかもしれない。
宇井	とりあえず、実験大会終了後、決算やアンケートをまとめて、なるべく早めに集まらないといけなない。
大久保	全日本ミドルの前日にはできないだろうか。
宇井	どこにしても行けない人がいそう。
齋藤	話のすそ野をどこまで広げるかにもよるが、2010年度の臨時幹事会では、一般の参加を認めた。加盟員の人数が多いという理由で関東で開催し、オブザーバーという形で意見を聞いた。
宇井	どこで臨時幹事会を開催するかは、山上・実行委員長、大西・技術委員会委員長、山川・副会長の三人の都合のよいときがよいだろう。濃厚なのは、全日本ミドルの前日(11月9日)だろう。都合を3人に聞いてみて、来れない方がいたら、なるべく3人が来れる日を探したい。
野本	インカレはどのように開催地を決めているのだろうか。

齋藤	かつてはテレインコントロールワーキンググループという専門のグループが担当していたが、機能しなくなったため、今では担当理事の案件である。
野本	スプリントをロングと合わせて開催することが決まった場合、スプリントに関してもロングの担当理事が関わることになるのだろうか。
齋藤	そのようになるのだろうか。ただ、最近理事が増えているので、もうひとり担当理事を増やしてもいいだろう。新しいことをするのだったら、新しい理事を充ててもいいだろう。
野本	ロングとスプリントをくっつけることは決定なのか。濃厚ぐらいか。
齋藤	そうである。前回の実験大会の結果を見ると、ミドルとの併催は無理である。
田村	実行委員会からは、もしロングと一緒に開催する場合は、ロングスプリントの両方を受け持つという仮定で動いてもらうということか。
佐藤	そのようになる。
田村	そうすると、ますますやってもいいよというテレインが減るような感じがするが、仕方ないだろうか。
齋藤	それは学生が決めたことだからしょうがない。
宇井	→、インカレロング開催後の早い時期に、臨時幹事会を開催し、インカレスプリント本大会の開催を決定することになった。

4.インカレミドルの方式について	
今年度のインカレミドル実行委員会から届いた提案・報告について、平野より説明があった。特に、報告のあった「一般クラス1走スタート形式の変更」「女子選手権リレー」については、公平性や完走率などの面で懸念が出された。	
平野	今年度のインカレミドルの競技責任者である松井氏より僕宛てのメールが来ている。 【実行委員会から届いている提案・報告】 1.提案 (1) インカレミドルエリート人数の見直し 理由:学連登録者が増加している為。 (2) Bエリートの廃止 理由:運営負荷を低減するため。 2.報告 (1) 一般クラス1走スタート形式の変更 昨年度同様、前列に第一チームが整列。その後ろに第二チーム以降が自由に整列。 理由:チーム間の公平性を確保するため。 (2) 女子選手権リレー 昨年は2走のみ短縮形式であったのを全走者同一距離とする。完走率への影響を鑑み、全体の距離は現状維持とする。(原案:40-40-40) 理由:運営負荷を低減するため。
平野	今年のインカレリレーでは、学校コード順に整列した。
宇井	(自由に整列することにしても本当に)整列するのだろうか。
平野	あと提案の方は、以前、大西技術委員会委員長が言及していたことなので、ここでは報告に挙げられた2点について、懸念等があれば出してほしいということだった。
宇井	第1チームというのは昨年度のリレーの順位で並ぶということか、それとも第1チームの中の並び順の事か。
平野	第1チームの中の並び順は昨年度と同様ということなので、おそらく学校コード順だろう。
齋藤	昨年度のインカレリレーは何列になっていただろうか。
佐藤	2、3列くらいだったと思う。
宇井	並ばないと思う。絶対役員負担になると思う。
宇井	今日の7人リレーのようにごちゃごちゃとなるのではなく、ふつうに整列させるということか。(※今回の幹事会の開催当日、7人リレーが開催された。)
平野	整列と書いてあるので、団子状態にさせるわけではないと思う。来た順に並べるということだと思う。
齋藤	自由に整列と言っても、いろいろな解釈ができる。
五味	会場の場所取りによって、スタートレーンへの行きやすさが変わってくれば、特定の大学が一番前に整列することになるのでは。公平性が逆に失われないのだろうか。
糸井川	箱の前に行列ができるだけで、何も変わらないのではないのか。
平野	おそらく、「学校コード順にすると、毎回関西・東海の出場チームが後ろに並ぶこととなり、不公平である」という理由による措置だと思うが、(実行委員会)はそこまで深く考えていないと思う。
野本	対策については、意見を見て考えるということだったので、意見を送りたい。不安があれば言ってほしい。
野本	抽選で適当に決めてしまうのが、一番いいのでは、という気がする。
糸井川	第1チーム、第2チーム以降でそれぞれまとめて抽選して、決めるというのはどうだろうか。
野本	女子選手権リレーの全体の距離の維持となっているが、ここでいう全体とは何を指すのだろうか。
平野	おそらく今までの1走から3走の距離だと思う。全体の距離があって、2走が短いというのが現状である。
五味	完走率の維持を目的とするところに違和感がある。女子は3人奇麗に集まらない大学がある。1走・3走と比べて実力が劣る3人目を2走にすることが多々ある。1走・3走と同じレベルのコースを走るとなると、今までの2走よりも難しい、長いコースを走ることとなり、時間をロスしてしまうのではないのだろうか。

野本 齋藤 宇井	もともとの趣旨として、完走率の維持を鑑みて、2走を短くしたのだろうか。 運営の負担軽減と書いていなかっただろうか。 たぶん運営負担を軽減するために、同じ距離としたいが、2走が大変になるので、短くしているということだろう。
齋藤 高橋(元) 杉村 田村 杉村 野本 五味 齋藤 野本 杉村 杉村 佐藤 大川 平野	ウィンクの時間については、インカレ規約に書かれていなかっただろうか。 たぶん(記述はあるだろうが、)幅があるので、低い方に合わせるためだと思う。 完走率という言葉にすごく違和感がある。男子と女子で完走率にそんなに差はあるのだろうか。 女子の方が参加チーム数が多く、完走したチームも多かった。(26チーム中21チーム) 先入観があるのではないだろうか。 3つとも同じだった年は、どのくらいの完走率だったのだろうか。 昨年度は2走への配慮があったために、完走率が上がっているのかもしれない。 2009年度足柄までは、3つとも同じ距離だった。 それ以上に、チーム間の差が付きすぎてしまうことが問題になるのではないだろうか。 ラップセンターを見たが、男子と女子の完走率はあまり変わらないと思う。 最後まで接戦となることを狙っているのではないだろうか。 完走率を維持するより、競った状態で最後まで行ってほしいというはある。 充実するのだったら、距離を短くしてもいいと思う。 返事が来ると思うので、その時点で。特に一般クラスのスタート形式の変更については、問題がありそうなので、ご本人と相談したい。
田村 平野 齋藤	ミドルのBエリートの廃止などの運用の変更は、いつから行うのか。 今年は間に合わないだろう。 そんなことはない。予選・決勝方式の廃止したときはそうだったが、運営が楽な方向に変わるので。実行委員会からの強い要望がなければ、今年度中に結論を出せばよい。ただ、いつまでに決める はっきり決めた方がよいと思う。
平野	聞いた限りでは、今年中に間に合わなくてもよいが、そういうことも検討してくれ、ということだった。 (それに対して)大西さんが今の幹事会でも同じようなことを発言していると返答した。特に強い希望 ということではないと思う。
宇井	大西さんがアンケートを集計していると思うので、それを待つこととして、廃止するとしたら、いつから適用することになるだろうか。急ぎではないので今年度中ではなくても、先延ばしにしてもしょうがないので、早めに議論を進めていきたい。
佐藤 宇井	いつまでに集計が終わるかにもよるが、集計結果が出て、学生の意見を集めて、いったん幹事会で話し合っ、総会で採決を取って変更となると思う。 遅くとも次回幹事会までには出してもらえるように、大西さんに伝えておく。そうしないと話し合う機会がなくなってしまう。
	5.技術委員会報告 (担当者不在のため省略)
	6.理事会報告
齋藤	齋藤より、急逝した立川理事の後任についての現状報告があった。後任の人選は、まだめどが立っていない。 筆谷・理事長より報告事項をいただいている。前回の総会で承認をさせていただいて、新しい理事(高橋・理事、田村・理事)を迎えた。しかし、その後立川理事が急逝し、その後任決めが急務であるが、まだめどが立っていない。近日中に理事で集まって、決めようとしているところだ。インカレミドル担当理事であったが、何をしていたのかあまりよくわからない。 山川・副会長や木村・理事は7人リレーの準備で忙しく、メーリングリスト上での議論では限界があり、具体的な話が進んでいない。インカレミドルが迫っていて、これから活動が活発化してくる段階に入ることを考えると、何とかしないとイケない。
	7.各部局活動報告
	<ul style="list-style-type: none"> ●会計:今年度加盟金受付、幹事会経費支出、賛助金受け取り ●事業部:第2回幹事会のとりまとめ・インカレプリントアンケート集計 ●広報部:いぶき作成、日本学連涉外メーリス登録、ホームページ・Twitter更新 ●事務局:学連加盟・JOA競技者登録、後援申請受付 ●普及部:賛助会員の募集、賛助会員名簿の作成 ●渉外部:東北大合宿(9月末実施)についての回覧書送付、筑波大大会・早大OC大会の回覧書の送付(予定) ●活動報告書作成委員会:入稿に向けて調整中
杉村 佐藤 高橋(秀) 齋藤 杉村	【普及部】 時間はないが、インカレロングの観戦ガイドはあった方がよいだろうか。 あったら欲しい。 今いぶきでインカレロングの特集をしようとアンケートを取っている。 試みとして面白いと思う。 インカレロングについてはいぶきで結構取り上げられているので、迷っている。

齋藤 野本 杉村	切り口にもいっぱいあると思う。シード選手に絞るなどしてもよいと思う。 順位予想などをするのにはみんな結構興味がある。 それでは順位予想などを取り上げていこうと思う。後日メールスを流すので、ご協力をお願いしたい。
大久保 宇井 大久保	【会計】 賛助金の受け取りは東大大会の分以外はすべて済んでいる。東大大会については追って振り込んでもらう予定である。 会計の中間報告は大丈夫か。 山田・前会計からもらった決算報告とともに次回総会で報告する。
高橋(秀)	【広報】 日本学連ホームページを今リニューアルしようと考えている。
佐藤 宇井 佐藤 野本 齋藤 田村 佐藤	【活動報告書作成委員会】 山田・前会計との連絡が途絶えていたため、その部分ができている。それができ次第、メールスを回すので、確認をお願いしたい。 いつごろ完成予定か。 総会を目標にしている。 どのくらいの発行部数か。 かつては全加盟員分発行していたが、現在は、2年間の幹事全員分と各加盟校に1・2部回す程度の部数である。 各加盟校には1部づつである。 それを参考に発行部数を決めたい。
	8.各地区学連活動報告
	<ul style="list-style-type: none"> ●北東学連:北東学連合同合宿(8月16日～19日)、北東インカレ兼ロングセレ・学連総会(8月17日)、東北大大会(9月7日)、北海道大学大会(9月28日・予定)、岩県大会(10月26日・予定) ●関東学連:関東学連臨時総会(7月5日)、スプリントセレクション(8月30日・サンスーシ運営)、スプリント推薦会(9月3日) ●北信越学連:交流会(7月19日・20日)、北信越学連合同合宿(9月13日～15日)、スプリントセレクション・学連総会(9月13日) ●東海学連:東海インカレ兼ロングセレクション(6月29日)、東海学連夏合宿(8月30日～31日)、東海学連総会(夏合宿で開催)、東海学連冬合宿(12月27日～29日・予定)、ミドルセレクション(12月28日・予定) ●関西学連:、関西インカレ兼ロングセレ・第2回学連総会(6月15日)、学連練習会(7月1日・大阪OLC練習会と併催)、近畿OL連絡会(7月19日・関西学連主催)、第2回定例戦・新人戦(10月26日)、京大京女大会(11月15日～16日)、ミドルセレ(11月30日)
村瀬	【関東】 加盟員増加のため、ミドルセレでのスタート時間が長くなり、運営者負担が大きくなった。そこで、関東学連臨時総会では、セレクション方式の変更について話し合ったが、まだ全然まとまっていない。話が進んだら、また報告する。
	9.次回幹事会・総会について
	【2014年度第3回幹事会】 <ul style="list-style-type: none"> ●開催日:1月24日(筑波大学大会前日) ●開催地:栃木県矢板市付近 【臨時幹事会】 <ul style="list-style-type: none"> ●開催日:11月8日(全日本ミドル前日・候補日) ●開催地:埼玉・東京付近 ※後日、この日に埼玉県熊谷市で開催することが決定した。
宇井	【第61回総会】 <ul style="list-style-type: none"> ●開催日:10月11日(インカレスプリント開催後・夕方) ●開催地:トリムパークかなづ研修室
宇井 齋藤 宇井 齋藤 宇井 佐藤 糸井川	臨時幹事会の開催日は3人の都合を聞いてから決めることとなるが、候補として考えているのが、全日本ミドルの前日である、11月8日である。 臨時幹事会や総会で話し合うことをはっきりしてほしい。 臨時の幹事会で話し合うこととして、インカレスプリントの決算報告・開催後のアンケートで得られた意見についての議論、第1回インカレスプリントを正式に開催するための議論である。 せっかくなので、インカレミドルについても話し合ったらどうか。 そうしたい。Bエリートの廃止やエリートの人数について話し合いたい。 あと、総会で報告することとして、大学院生の学連登録に関する規約の変更についてがある。 それについてこれからアンケートを取りたい。 関西学連のミドルセレ規約改正についても承認を取りたい。

新粥 宇井	JOA加盟については何か議論は必要だろうか。 加盟については報告済みなので、いらなと思う。 あと、会計中間報告・昨年度会計決算報告をしたい。インカレミドルの提案の部分についての報告についても議題としたい。 また思いついたら連絡してほしい。
宇井 高橋(秀) 宇井	【新幹事について】 昨年度から、1月の幹事会に次期幹事を呼ぶことにしている。留任しない場合は次期幹事を見つけてきてほしい。 次期幹事を呼ぶのにかかる交通費・宿泊費を支出するのに必要な承認はとらないのだろうか。昨年度は呼んだ時の幹事会で承認を取ったが、それだと事後承認の形になってしまう。 それでは、先に承認を取っておこう。 →次期幹事を呼ぶのにかかる交通費・宿泊費を日本学連会計から支出することが、全会一致承認された。
	幹事会終了:20時52分